

令和6年度 学校経営計画報告

校長 松井 尚美

令和6年度の学校経営計画による経営について、ご報告いたします。

学校教育目標 (育てたい子供)

「生涯にわたってよりよく生きる力」の基礎をはぐくむ学校
自分の考えもち、すすんで行動し、人の気持ちの分かる子を目指す

自分からすすんで学ぶ子供 (知)、からだをきたえる子供 (体)、思いやりのある子供 (徳)

○学力の定着と向上、組織的な授業改善について

・4月に実施された6年生対象の全国学力調査(国語・算数)の結果では、全体的な傾向として基礎的な力の不足から思考・判断を伴う問題に取り組めないという課題が見られました。また、4～6年生対象の八王子市学力調査(国語・算数)の1回目(1学期)の結果からも同様の傾向が見られました。

上記の傾向を踏まえ、今年度はすべての教科の基本となる「読む力」の育成を国語科で重点的に取り組みました。校内研究で年間4回の研究授業を実施し、単元における「基礎・基本の力」とそれを身に付けるための指導方法改善に取り組みました。

また、児童が主体的に学ぶ工夫として朝学習の充実に取り組みました。学年や発達に応じて、児童の語彙力や読解力育成を目標に継続的に取り組みました。週1回の読書タイム(全校共通)、週2回のぐんぐんタイム(全校共通)、定期的に日記を書く(低学年)、語彙辞典の作成(中学年)、新聞社説の要旨をまとめる(高学年)、言葉の意味を正しく読み取るトレーニング(たんぼぼ学級)等はその取り組みの一つです。

・4～6年生対象の八王子市学力調査(国語・算数)では1学期と3学期の結果比較から以下の特徴が挙げられます。

1回目ではいずれの学年も2教科の教科総合、基礎、応用の各項目は市平均を下回っていましたが、2回目では市平均を上回った教科総合や項目が5、6年に見られたことは成果と言えます。前回比で5ポイント以上伸びた項目もありました。継続して文章の要旨をまとめる活動や自分の課題を見つけてぐんぐんタイムで取り組んできたこと、課題を自覚した高学年児童が教師の声掛けにより放課後の補習に自主的に取り組んだことが要因の一つと考えます。一方、4年生では大きな変化は見られず、成績上位層と下位層が二分される結果となりました。基礎基本の力を身に付ける指導の工夫を発達段階に応じて検討する必要があると言えます。

・5年、6年の学習指導において教科担任制を実施しました。教師がじっくり授業準備できることで担当教科の指導の質の向上、学級間の指導の均一化、学年間の児童理解が進み、落ち着いた学級経営につながりました。結果として学力向上につながったと考えています。

・校内OJTとして、ベテラン教員や各教科において専門性の高い教員の知識や技術を他の教員に指導する研修を年間8回実施しました。2、3学期には、各教員がお互いの授業を参観し合う交流期間を設定し、授業力向上に努めました。

○社会性・人間性の育成について

- ・リーダーシップを育む指導として縦割り班活動（サンフラワータイム）を年間 14 回実施。サンフラワー班による活動は全校遠足のほか、新たに展覧会の共同制作、縦割り清掃等を実施しました。多様な活動によって 6 年生には下級生の手本となる行動を心がける姿が多く見られました。5 年生には次年度のリーダーとしての自覚が芽生えた児童も多く、4 年生以下の児童は、上級生の姿に憧れや感謝の気持ちをもっています。年齢に応じた社会性を育む活動によって、横川小学校の良き伝統が引き継がれています。
- ・横川サミットや各委員会の委員長が学校生活の諸問題を発見し、解決の方策や学校行事への主体的な取組を計画しました。運動会や展覧会、1 年生を迎える会や 6 年生を送る会等の行事だけでなく、校内挨拶運動や小中合同の挨拶運動を自発的に行い、身近な社会との関わりの中で自分を生かす力が育っていきました。
- ・特別支援学級（たんぽぽ学級）と通常学級の交流する機会として、運動会や校外学習の行事、縦割り活動、委員会活動、クラブ活動等を行いました。

○安全・安心の確保について

- ・いじめ対策として週 1 回のいじめ対応の時間を実施、スクールカウンセラーと連携し、早期発見、早期対応に努めました。いじめ対策委員会で認知したいじめについては、毎週のいじめ対応の時間での状況確認と 3 か月間の見守りを徹底し、該当者及び保護者に確認しながら解消をしています。3 学期に認知した件については、新年度も引き続き見守りや対応を行います。
- ・現在、不登校傾向の児童が全校で数名います。理由は様々で個別の対応を行っています。学習機会の保障、他者との関わりを大切にするため、一人 1 台の学習用端末を活用しています。ケースによっては保護者と相談の上、専門機関と連携しています。
- ・交通安全教室や SNS 等のセーフティ教室を学年の発達に応じて実施しました。1 学期に通学路での交通事故があり、大変ご心配をおかけしました。教育委員会や警察に安全面の配慮を引き続き要請しています。児童には交通安全指導を継続しております。ご家庭におかれましても声掛けのご協力をお願いいたします。
- ・スポーツ振興保険を適用したケガは年間で 1 2 件でしたが、校内での大きな事故はありませんでした。一方、下校後の自転車走行や公園等の遊び方には課題があり、生活指導部を中心に安全指導を継続しています。

○健康の維持・推進について

- ・東京都児童体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果から、どの学年も体格においては東京都の平均並みと言えます。体力・運動能力においてはほとんどの学年で「シャトルラン」「50m走」に課題があることが分かりました。「シャトルラン」では体力不足の可能性が考えられます。「50m走」は運動会前の短距離走の学習が中心となっているため、走力を高めるための知識や技能が定着していない可能性があります。体育科の授業を改善することが必要と考えます。授業外で思い切り体を動かす時間を増やすため、楽しく取り組む工夫をし体力向上を図ってまいります。
- ・年間を通して体育委員会や保健委員会等の各委員会が企画した運動や健康を意識した活動がありました。特に 3 学期のランラン大会に向けては全校で持久走に取り組むことができました。
- ・インフルエンザ等による学級閉鎖は 2 学期に 3 学級ありましたが、以降は目立った罹患状況はありません。手洗いとうがいの励行を引き続き指導していきます。

○言語活動、読書活動の充実について

- ・全校で週 1 回の朝読書を実施しました。学級文庫の充実を図るために家庭や地域からの図書寄贈を呼びかけた結果、120 冊以上増冊できました。
- ・学校図書館司書を活用し、100 回を超える読み聞かせやブックトーク等の読書指導の充実と図書室環境整備を行いました。全学級を対象に「八王子市おはなしの会」の方々による読み聞かせを実施しました。

・学校図書 の 充実として日本教育公務員弘済会の図書助成に応募し、10万円分の児童図書寄贈が決定しました。令和7年5月頃に届く予定で、児童の読書活動に活用していきます。

○学校 2020 レガシーの推進について

- ・3年生は「八王子の魅力発見」をテーマに、自分たちの住む町や八王子市の良さを見付けたり伝えたりする学習を実施しました。カイコのお世話をする事で養蚕業が八王子市の大切な伝統文化だったことを学びました。また「八王子車人形」を体験し、地域の伝統文化についても理解を深めました。
- ・4年生は「共に生きる」をテーマに、八王子市社会福祉協議会、高齢者施設、近隣保育園等と連携した交流学習を進め、「高齢者」「障害者」「幼児」についての理解を深めました。
- ・5年生は「環境」「SDGS」をテーマに身の回りから社会的課題に目を向けた学習を進めました。浅川の環境に着目し、児童が課題を設定し調査を進めました。八王子市教育委員会や環境政策課と連携し、学年児童と地域の方が協働して浅川のごみ拾い活動を実施しました。浅川サイクリングロードに環境美化ポスターを掲示しました。
- ・6年生は日光移動教室をきっかけに「日本の文化」や「世界遺産」について学びました。学んだことを外国の方に発信する活動として「留学生との交流」を実施しました。グローバル社会に生きていくことを視野に入れ、様々な「職業」について調査しました。保護者の方の実体験を伺う機会も設け、自身のキャリア形成に生かす学習をしました。

○小中一貫教育の推進について

- ・横川中学校と相互授業参観、運動会・体育祭や学習発表会・音楽祭の行事参加、中学校教員による出張授業、定期的な情報交換や協議を実施しました。
- ・青少対クリーン活動の取組（3回）には、多数の小中学生が参加しました。
- ・児童、生徒間の交流は、市内全小中学校が取り組む「はちおうじっ子サミット」の活動として、いじめ防止の取組を児童会と生徒会で話し合い、2学期と3学期に小中合同の挨拶運動を実施しました。また、中学校生徒会のアドバイスにより、小学校では縦割り活動の充実を図りました。

○保護者・地域との連携 について

- ・個別相談に丁寧に対応することを目的とした個人面談期間（希望者対象）を2学期末に設定しました。各学級半数程度の保護者の方と面談を実施しました。
- ・学校運営協議会の協力により、地域の子供は地域で見守ることを目的とした、横川中学校区の令和6年度版コミュニティカレンダーを作成し、横川小学校、横川中学校、近隣の幼稚園と保育園、地域で希望される方に配布しました。本校のホームページではカラー版が掲載されています。令和7年度版コミュニティカレンダーは4月頃に配布（掲載）予定です。
- ・青少対主催の「花いっぱい運動」により校庭や校門の花壇にたくさんの花を植えていただきました。
- ・青少対と保護者と教師の会の支援により2学期に「サイエンスマジックショー」を公演していただきました。
- ・学校運営協議会のご協力、横川中学校と連携した「漢字検定」「英語検定」を実施し、学力向上の一助となりました。
- ・「横川小音頭」は、児童会「横川サミット」が練習を企画し、今年も運動会で披露しました。当日は、児童の輪に保護者や地域の方々を加わり、賑やかに踊ることができました。各町会の夏祭りでも取り上げていただき、参加児童が地域の方々と一緒に楽しく交流することができました。
- ・新年度に入学する年長児を対象に、1年生の生活科や4年生の総合的な学習の時間に横川幼稚園、横川保育園、光明第四こども園と交流しました。

○組織体としての学校機能について

- ・施設や設備の維持・管理として、校庭遊具の補修や定期的な樹木の剪定・点検を行い、近隣への落葉や倒木の防止に努めてきました。
- ・学校ホームページの構成を見直し、必要な情報の取得がしやすくなるように努めました。また、更新頻度を高め、児童の日頃の学校生活をお伝えできるように心がけました。Home&school アプリを活用した欠席連絡やお便り配布で迅速な情報共有を実施しました。
- ・昨年度まで、教材費については現金徴収でしたが、今年度から給食費同様に口座振替を導入しました。これによってお子様を介しての集金がなくなり、安心して教材費を徴収できるようになりました。
- ・節水、節電、裏紙の活用、教材のデジタル化、会議資料のPDF化をし、コスト削減を徹底しています。
- ・教員一人ひとりが教育公務員としての自覚をもち法令の順守やサービスの厳正に努めるため、週1回服務事故防止研修を実施しています。
- ・横川学童、放課後子供教室と学期に日常的に連携し、児童一人ひとりの学校生活と放課後の活動において切れ目のない情報共有を図りました。

○社会的課題への対応について

- ・最近の物価高騰により学校教育に関する費用も増加傾向にあります。学校では、一人1台端末の効果的な活用、私費負担による購入教材の精選、印刷物削減等に努めています。
- ・今年度から5年清水移動教室、6年日光移動教室、卒業アルバム等にかかる費用を1年生から積立を開始し、実施直前に保護者の方に多額の集金をお願いしなくてもよいようにしました。今年度は導入初期のため、5、6年生保護者の皆様には例年と変わらない金額となりましたが、来年度以降は徐々に効果を感じていただけるのではないかと考えています。
- ・教員の働き方改革の実現に向けて、電話対応は午後5時30分を目途に留守番電話対応とさせていただいています。時間帯によってはHome&Schoolを積極的に活用することでご不便をおかけすることがないように努めてまいりました。